



細胞の構造

細胞の構造とはたらき

1. 細胞膜

リン脂質の二重膜からなる。膜タンパクはチャネルやポンプによる物質の選択的輸送や、伝達物質の受容体の働きも持つ。また膜を介した分泌や吸収（飲作用や食作用）の働きがある。

2. 細胞核

核のDNAには遺伝情報がある。核小体にはRNAがあり、DNAが複製されるときに m-RNA が作られ DNA の情報を転写する。その後 m-RNA は核膜孔から細胞質に出る。

3. 細胞内小器官

1)ミトコンドリア（発電所）

細胞エネルギーのATPを好氣的解糖によって生成する。

2)リボソームRNA（タンパク合成工場）

小胞体の表面にリボソームRNAを持ち、t-RNA によって運ばれたアミノ酸を結合してタンパクを生成（翻訳）する。

3)ゴルジ装置（配送センター）

生成したタンパクはゴルジ装置に運ばれ、修飾（濃縮、糖の負荷など）され、分泌顆粒を形成し、細胞外へ分泌する。

4)リソソーム（ゴミ処理場）

リソソームは約20種の加水分解酵素を持ち、食作用によって取り込まれた細菌、異物などを分解処理する。マクロファージや好中球に多い。